

# 令和3年度 生野支援学校 学校教育自己診断結果考察

## 1. 実施について

アンケート配布：12月10日（金） アンケート回収：12月17日（金）

【保護者アンケート（30問）】

	小学部		中学部		高等部		全体	
	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2
提出者数	98名 /109名	90名 /95名	91名 /112名	90名 /106名	125名 /153名	117名 /146名	314名 /374名	297名 /347名
回収率	89.9%	94.7%	81.3%	84.9%	81.7%	80.1%	84.0%	85.6%
前年比	－4.8%		－3.6%		+1.6%		－1.6%	

保護者アンケートの回収率は、上記の通りとなりました。今年度もたくさんの保護者の方々にご回答いただき、ありがとうございました。

## 2. 評価について（考察を含む）

「A：あてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない」の4段階評価に加えて、「E：わからない」の選択肢を設定

○「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせた【肯定的評価】の割合が高い項目

No. 5	94%	学習の内容・学校生活の様子を、懇談や学級（学年・学部）通信、連絡帳等によって知ることができる。
No. 16	93%	体育・運動の授業を通して、意欲的に運動する習慣を身に付け、体力の向上に向けて取り組みが行われている。
No. 3	92%	教職員は、子どもの障がいについて理解している。
No. 6	92%	学習の記録（個別の指導計画）は、子どもの学習の達成度が適切に評価されている。
No. 29	92%	ホームページやすぐメールを通して、学校の情報が提供されている。

アンケートでは、全体の8割を超える項目について、肯定的な評価が80%を超える回答をいただきました。その中でも、上記の5項目について、特に高評価となりました。

○「あてはまらない」「あまりあてはまらない」を合わせた【否定的評価】の割合が高い項目

No. 25	13%	学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている。
No. 14	11%	将来の進路を見据えて、学校は適切な指導や情報提供を行っている。
No. 13	10%	卒業後の進路について考える機会を設定し、校内・校外実習を通して指導や助言を行っている。（高等部のみ）
No. 23	10%	学校の施設設備は、学習環境面で整備されている。

**No.25「学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている。」**

今年度も、感染症防止の観点から、例年に比べて直接的な交流の場を持つことが難しくなりました。保護者の方々からのご意見として、その点も踏まえて「仕方のないこと」というお言葉をたくさんいただき、ご理解いただいていることだと存じております。

その中でも、小学部では巽東小学校の児童と、各学年間で手紙の交換を行いました。中学部では新生野中学校の生徒に本校生徒の作品を見てもらい、感想のメッセージをもらったり、反対に文化祭のビデオを見せてもらって、本校生徒が感想を送ったりするといった交流を行いました。高等部では大阪わかば高等学校の敷地を整備して、わかば保育園の園児が芋ほり体験をできるようにお手伝いをしました。そのような形で、今年度も交流を継続し、来年度以降につながるような取り組みを行いました。

**No.14「将来の進路を見据えて、学校は適切な指導や情報提供を行っている。」**

**No.13「卒業後の進路について考える機会を設定し、校内・校外実習を通して指導や助言を行っている。（高等部のみ）」**

小中学部の保護者の方々から、進路については、まだ先の話であるというご意見がある一方で、資料や説明会だけでなく、一人一人に合った、より具体的な進路についての相談を求められているお声も多くいただいております。児童生徒の実態にあった、適切な情報提供や相談ができるように、今後とも尽力してまいりたいと思います。

**No.23「学校の施設設備は、学習環境面で整備されている。」**

施設の老朽化を心配されるご意見が多かったです。限られた予算の中で、全ての施設設備を改修することは難しいですが、ホームルーム教室にモニターを設置したり、転落やけがの防止のために柵やクッションを設置したりと、可能な範囲で整備を進めております。今後とも、学校が安心安全な場所であるように、計画的に整備を進めてまいりたいと思います。

○「わからない」の割合が高い項目

No. 25	26%	学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている。
No. 20	23%	授業をはじめ、学校でＩＣＴ機器（大型モニター、タブレット、パソコン等）を活用する機会が設けられている。
No. 26	20%	ＰＴＡ活動が活発に行われている。
No. 30	20%	アンケート等でいじめ（疑いを含む）に対する調査を行い、早期解決できる体制が整っている。

**No.25「学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている。」**

上記にもありますように、今年度も安全な形での実施を模索しながら、交流を行ってまいりました。しかしながら、保護者の方々へ交流についてのお知らせが不足していたように感じます。これからも様々な形での交流を行ってまいりますが、内容を保護者の方々にお伝えできるような情報発信の場を検討してまいります。

**No.20「授業をはじめ、学校でＩＣＴ機器（大型モニター、タブレット、パソコン等）を活用する機会を設けている。」**

こちらに関しても、保護者の方々へ取組み内容のお知らせができていなかったと感じます。各教室へモニターが設置されたことにより、教員がタブレットやパソコンを使用して授業を行ったり、始業式や終業式をオンライン配信で行ったりと、ＩＣＴ機器の活用はより日常的になっています。また、今年度より『児童生徒に１人１台端末（タブレット）の活用』として、取組みが始まります。児童生徒の実態に合った方法で、今後もＩＣＴ機器の活用を進めてまいります。

**No.26「ＰＴＡ活動が活発に行われている。」**

コロナ禍により、どうしても活動自体が制限されてしまうことがありました。その中でも、進路に関しての座談会や講演会、施設見学会や学習会を実施されています。また、本校の教育活動や学校行事等にも多大なるご支援ご協力をいただいております。ありがとうございました。

**No.30「アンケート等でいじめ（疑いを含む）に対する調査を行い、早期解決できる体制が整っている。」**

アンケートを実施して、いじめの実態について調査をしているものの、解決に向けての校内の体制については詳しく示しておらず、「わからない」という評価があることかと思えます。学校では、「いじめ防止対策委員会」を設置しており、『大阪府立生野支援学校いじめ防止基本方針』に基づき、解決に向けての体制を整えております。こちらについては、学校ホームページに掲載しておりますので、ご参照いただければと思います。今後は、アンケートの実施の際に、どのような体制で問題に取り組み、解決に向けて進めていくかを併せてお知らせしてまいりたいと思います。

○ 昨年度より【向上】した項目

No. 9	肯定的評価 +8%	否定的評価 ±0%	校外学習や修学旅行等の学校行事は、子どもが参加しやすいように工夫されている。
-------	--------------	--------------	--

**No.9「校外学習や修学旅行等の学校行事は、子どもが参加しやすいように工夫されている。」**

昨年度に続き、学校行事においての感染症対策に努めてまいりました。その中で、校外学習や修学旅行等、学校外に出る活動については、特段の配慮を要し、計画の段階から様々な対策を検討しました。また、保護者の方々には、緊急時のお迎えの体制をとっていただき、準備から様々なご協力をいただきました。結果、学校行事を安全に進めることができ、児童生徒も楽しく活動に参加できたのではないかと思います。

○ 昨年度より【低下】した項目

No. 25	肯定的評価 -13%	否定的評価 +8%	学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている。
No. 17	肯定的評価 -5%	否定的評価 -2%	場に応じた受け答えや挨拶が、自らできるような取り組みが行われている。

**No.25「学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている。」**

交流に関しては、今後も可能な方法を模索しながら、『つながり』を大事にして継続してまいりたいと思います。

**No.17「場に応じた受け答えや挨拶が、自らできるような取り組みが行われている。」**

今年度も、保護者の方々が学校にお越しいただくにあたって、制限を設けさせていただくことが多く、日々の取組みを直接見ていただく機会が少なかったです。自立活動の内容にもあります『コミュニケーション』にとって、挨拶や受け答えは重要な部分であり、そのための学習は授業の他にも、学校生活のあらゆる場面で日常的に行っております。児童生徒一人一人に合った、それぞれの形で実現できるように、今後とも継続して取り組んでまいります。

今年度も、保護者の皆様から貴重なご意見をたくさんいただくことができました。アンケートでお伝えいただきました内容については、全てのご意見を含めまして全教職員に周知し、今後の学校運営や教育活動に反映させていただきます。ご協力ありがとうございました。